

令和 3 年度 さいたま市立 東宮下小 学校 学校関係者評価書

さいたま市立 東宮下 小学校
学校関係者評価委員長 石川 淳

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数 7人

(2) 実施回数 2回

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

(1) 評価項目 2 「学校生活・集団生活・マナー」について

- ・校内だけでなく、地域においてもあいさつができる児童が増えている。
- ・児童の記述から、児童の規範意識が高まってきていると感じられる。この高い意識を中学校にもつなげられるようにしたい。
- ・地域が児童と交流する機会を制限されている現況から、児童への声かけの機会が減少していることが気になっている。
- ・学校が行っているあいさつの指導について、方針や重点、指導方法などを地域が共有することにより、地域も関わりをもちやすくなる。

(2) 評価項目 1-4 「学校における農作物の栽培活動・地域の自然」について

- ・学校が田植えや稲刈り、地域の農家見学など地域材を生かした教育活動を行ったことにより高評価になっていると思われる。これからも続けていきたい。

(3) 評価項目 2 2 「保護者や地域は学校教育に積極的に関わろうとしている」について

- ・登下校時の見守りなど、保護者が積極的に行ってほしい。保護者がより多くの児童と交流する機会をもつことで、児童にとって身近な大人がいる安心できる地域にしたい。

(4) その他について

- ・中学校の活動(野菜づくり・つぼみの日)や地域の活動(祭り・クリーン作戦・防災訓練)について、小学校の活動と共通する点を見つけ、交流する機会を多くもつことで、地域と小学校・中学校との関わりを深めることができるようにしたい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

今年度も「かしこく やさしく たくましく 一生懸命に」という学校教育ビジョンを掲げ、全職員が一丸となって様々な教育活動に取り組んできた。

学校関係者評価委員の皆様の御意見と、保護者アンケート、児童アンケートの結果をさらに吟味し、課題となっている項目の改善に向けて、今後も児童、保護者、地域の理解と協力を得ながら、全力を挙げて教育活動に当たっていく。

さいたま市立東宮下小学校長 田口 彰久